

王へ雄ハたづさふに雌むかり卵とくへし且雛を養ふなり
雨の日にハ外のもハ雌の餌やおるあいふハ雄雌のつりそ
卵をもぬくえり人雨ははおれり所をもて防げやと
當ハ雌雨の日餌はおりし卵も雛もぬり又養て巢
かけし雨はひるる自然の妙と云ふべし又當の巢より
似たり物有り望の巢むかりの巢も形丸くはふし甚多
死物も二三つも違同とてハ當の巢よりうとがふ是を
小蛇嵐の巢よりふれぬれば上下四方にふれぬより出